

ICTを活用してこのような授業を行います

町内全ての小・中学校にタブレット端末を整備するにあたり、町では事前に授業での有効な活用方法を検証しています。具体的にどのような授業が行われるか、亀井小学校の理科の授業風景を例として見ていきます。



このような**主体的・対話的な**授業により**深い学び**を目指します

さらに 児童生徒が自由にテーマを決めて学習できます

A I型ドリルを活用し、児童生徒それぞれが、小学1年生から中学3年生までの学習単元を自由に学べます。



得意な英語は中学3年生の内容を学習できます
苦手な算数は小学4年生の内容を復習できます

A I型ドリルを活用し児童生徒それぞれに最適化された学習へ

授業の定着度を把握するため、教師が問題を全児童生徒のタブレット端末に一斉送信できるようにしています。これは、A I型ドリルとなっています。こので同一内容の問題を児童生徒個々のレベルに応じて、難易度を自動的に変えて出題することもできます。児童生徒が解答した正誤判定は瞬時に Rowe 必要に応じて解説も示されます。授業最後の振り返りの場面では、児童生徒一人ひとりが感想や疑問等を入力して教師へ瞬時に送信することもできるようになります。これにより、児童生徒が教師と双方向で学習についてコミュニケーションを図ることができ、安全面から児童生徒同士ではできないように配慮されています。

特集

紙と鉛筆の学習方法「だけじゃない」

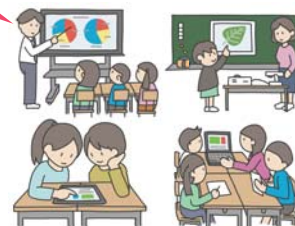
子どもたちの学びのギガ級変化が始まる

～鳩山町版 GIGA スクール構想～

「GIGAスクール構想」とは…

GIGAは「Global and Innovation Gateway for All」の略で、日本語に訳すと「すべての人にグローバルで革新的な入口を」という意味になります。この考え方をもとに、これまでの学校教育と組み合わせることで、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、その能力を最大限引き出すために、1人1台の学習用パソコンと高速ネットワーク環境などを整備する文部科学省の構想のことを指します。

1 通常時における授業での活用



- 学び合い学習(グループ学習)で活用
- デジタル教科書、デジタル図鑑・理科の実験動画等を活用



■ A I型ドリルの活用

鳩山町では、鳩山町版 GIGA スクール構想の推進にあたり、これまでに学校現場の声をもとに、タブレット端末(10インチの Windows 端末)とデジタル教材の選定をしてきました。デジタル教材としては、ライオンズ株式会社のラインズ e ライブラリアドバンス(以下 e ライブラリ)を導入します。

e ライブラリはクラウド上に児童生徒個々の ID を作成しアクセスすることによって、各々の学習履歴を小学校の6年間、中学校の3年間の計9年間積み上げることができます。この e ライブラリは日常の授業の中で次のような活用が想定されています。

鳩山町版 GIGA スクール構想

現在、国が進めている児童生徒一人に1台のタブレット端末を配備する GIGA スクール構想を、町教育委員会でも大きな教育改革とらえ、ICT(※)を活用し、子どもたちにとって授業がより魅力的なものになるように準備を進めています。令和3年度から、鳩山町の児童生徒も一人1台のタブレット端末を持つて学習に取り組むこととなります。

今月号ではこの鳩山町版 GIGA スクール構想を紹介いたします。

■ 問合せ 町教育委員会事務局 ☎ 296・12227

※ ICT… Information and Communication Technology の略。情報・通信に関する技術の総称。

学校現場の声から

現在、今宿小学校のICT教室はパソコンが20台しかなく、2人で1台を使い、調べ学習をしたり、現行のeライブラリの問題に取り組みたりして、対応しています。

4月からはタブレット端末が1人1台配備されます。eライブラリの名前は一緒ですが、システムがバージョンアップされるため、今宿小学校ではプロジェクトチームを作り、各世代の代表の先生が集まって、eライブラリの使い方を話し合っています。

AI型ドリルの良い所は、1人の子が継続して取り組むことでその子の苦手分野が分かるため、学力の底上げができることです。

私も説明会のときに、試しに問題を間違えてみました。次にそのドリルをしてみると、間違えたものと同類の問題が出てきて、「次はこんなことに取り組んでみたら」というアドバイスも出てきました。授業の解説動画も見られるためやり方が分からない



今宿小学校 吉井大輔 主幹教諭

子の助けになると思います。ただ気をつけなければいけないのは、AI型ドリルだけに頼り、知識の詰め込み型になることです。そのために、私たち教師は子どもの考える力、表現する力を引き出すために、うまくこのツールを使っていかなければならないと思います。

今、技能面の活用で考えているのは体育の授業での活用です。タブレット端末のカメラ機能を使い、走っている所などを撮影し、皆でディスカッションを行うなどの方法です。

子どもは日頃からタブレット端末等に慣れているので、使い方はすぐに覚えてしまうと思います。家庭でも使うことが想定

されているので、しっかりと使い方やルールを決めて、中学校とも連携を図っていきたいです。この先も紙と鉛筆を使い、考えや思いを表現する授業はなくならないので、その点はこれからも指導していきたいです。ただデジタル化が進むため、辞書など紙媒体のウエイトは将来減っていくかもしれません。

そのような中で、子どもたちは何が本当の情報なのかを見極める目を養っていかなければならないと思います。情報モラルや情報リテラシーの授業を今まで以上にきちんと行わなければいけません。他の教職員ともこの点は共有し、1年生から指導していきたいと思っています。

鳩山町版GIGAスクール構想で目指すもの

4月から各学校でタブレット端末を活用した授業が始まります。子どもどうしの対話・学び合い学習のなかに、タブレット端末というICT端末を新しいツールとして取り入れていきますが、これまでと同様、学校という集団の場を活かした教育にも努めていきます。

鳩山町教育行政重点施策の基本理念は「意欲を育み心をつなぐ」ですが、その上で鳩山町版GIGAスクール構想の理念を「個々を大切にしたい」「一人残らず学ぶ教育の推進」といたしました。

人と人とのつながり、人間の温かみを大切にしつつ、ICT端末を活用した個に応じた学びの実現を目指していきます。

大きな変革期を迎え、手探りのなかでのスタートとはなりますが、子どもたちの学力向上を目指すことはもちろんのこと、子どもたちにとってより魅力的な学校になるよう努めていきます。



▲町教職員の研修時の様子

宿題

題などの家庭学習についても、前ページで紹介したeライブラリの利用が考えられます。

eライブラリはクラウド上での利用になりますので、家庭にあるパソコンやタブレット端末等でアクセスすることが出来ます。また、家庭にこうした端末がない場合には、学校で利用するタブレット端末の持ち帰りをする事もできます。

学校で宿題や課題をタブレット端末にダウンロードすることで、Wi-Fi環境等のない家庭でも、オフラインでタブレット端末を利用して学習することが可能となります。

学校、家庭にいずれの端末利用に際しても、児童生徒が有害サイトにアクセスできないように、子どもたちを守る安全面にも留意した設計となっております。

※現在、タブレット端末の持ち帰り等の具体的な運用方法を町教育委員会で検討中です。

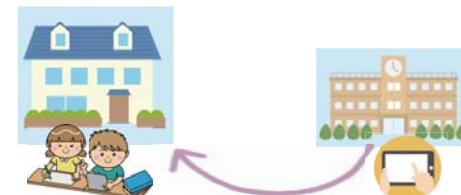
■公立高校入試問題集のデジタル教材化(中学校のみ)

各都道府県の公立高校入試過去問題が、それぞれ過去最新10年間分あり、アクセスすることが可能です。このデータベースの中から、学習単元ごとに問題を抽出できるので、例えば中学1年生でも、その単元に応じた入試問題に、効率的にチャレンジすることなどの活用が期待できます。



2 通常時における家庭での活用

■宿題等でAI型ドリルを活用 ※オフラインでも利用可



eライブラリはクラウド上の利用になるので、家庭にあるパソコンやタブレット端末等からアクセスできます。

家庭にパソコン等の端末がない場合には、学校で利用するタブレット端末に宿題や課題をダウンロードします。

■調べ学習での活用

デジタル百科事典・検索機能等を活用して学習



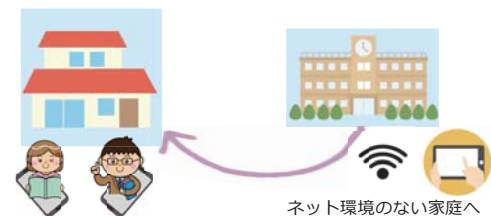
鳩山町では、デジタル学習百科事典や理科の実験動画等が見られるコンテンツを充実させました。これにより、調べ学習等のさらなる充実が期待できます。

■保護者の見守り

保護者のスマートフォン等で、子どもの学習状況が把握できます。



3 臨時休業時における家庭学習での活用



AI型ドリルや、既存のオンライン学習教材等の活用と併せて、児童生徒から担任へ双方向の連絡が取れるようにし、コミュニケーションを図れるようにします。

ネット環境のない家庭へWi-Fi機器の貸し出しや、学校で利用するタブレット端末の持ち帰りなどを、現在検討中です。

児童生徒の学習における疑問点や感想を家庭から教師へ送信できます。



今後、新型コロナウイルス感染症拡大やインフルエンザによる学級閉鎖等により、臨時休業となった場合、AI型ドリルや、オンライン学習教材等の活用により、臨時休業時の学びを支援します。

また、オンラインを利用することで、児童生徒から担任へ、担任から児童生徒へ、双方向の連絡が取れるようになり、休業時でもコミュニケーションを図りながら学習ができるようになります。

その際、ネット環境のない家庭へのWi-Fi機器の貸し出しや、学校で利用しているタブレット端末の貸し出しを行い、臨時休業時でも、児童生徒の学びの機会を止めないようにします。

※現在、タブレット端末の持ち帰りやWi-Fi機器の貸し出し等について具体的な運用方法を町教育委員会で検討中です。